2026 年 11 月 1 日

オンライン試験利用規約

一般社団法人日本医療機器学会
MDIC 認定委員会

「第 19 回 MDIC 検定試験のご案内」に基づきお申し込みをされている方に、オンライン試験の利用規約を定めるものです。

第 1 条　オンライン試験を受験

1. 受験が可能な場所
   会社、学校、自宅等インターネット環境が整備されていれば受験することが可能です。海外からの受験はできません。

第 2 条　当学会が準備するもの

1. オンライン試験システムの準備
   本システムは、受験票に記載のサイトにアクセスして、受験番号（受験 ID）、パスワードを入力した上で受験することができます。
2. 試験監督システム
   本試験監督システムは、オンライン試験を受験する際に稼働します。本システムでは、申込者本人の写真を撮影し、受験生が受験中に離席しないか、不審な行動を行わないか、などの確認を行い、10 秒に 1 回程度、試験システムサーバーに画像を送信して保存するシステムを備えています。

第 3 条　受験者が用意するもの

1. パソコン
   デスクトップパソコン、ノートパソコンの何れかで受験可能です。スマートフォンやタブレットを使用しての受験はできません。
2. インターネット環境の整備
   インターネット環境は、有線・Wi-Fi を問いません（有線環境を推奨します）。ただし、十分な通信速度が保てる環境をご用意下さい。なお、環境整備に要する費用は受験者の自己負担とさせていただきます。

第 4 条　オンライン・ライブ検定試験監督システムと Web カメラの利用について

1. 本試験監督システムで利用する Web カメラは、パソコン内蔵のカメラを使用します。内蔵カメラが無い場合は、受験者自身で Web カメラをご用意下さい。

第 5 条　オンライン・ライブ検定試験受験の流れ

1. オンライン試験システムによる受験
   本検定試験システムでは、音声とスライドで「受験上の注意」を行います。次に「認証コード」をご案内いたします。「用意」「始め」の合図があったら、「開始ボタン」を押して試験を開始します。試験が開始されると、制限時間がカウントダウンされ、試験終了時刻になると自動的に試験が停止されます。
   終了すると、試験終了のアナウンスが告知され、試験がすべて終了します。
2. オンライン試験システムによる回答方法
   本検定試験システムでは、5 択の設問形式があり、試験問題が受験者ごとにシャッフルして表示されますので、回答を選択して下さい。
   なお、必ずしも問題順に答える必要はありません。飛ばしておいて後で答える、戻って訂正することもできます。
3. オンライン・ライブ検定試験監督システム
   本検定試験監督システムでは、Web カメラに映る受験者の画像を 10 秒に 1 回程度試験システムのサーバーに送信して保存します。本学会では、採点と並行してサーバーに保存された画像をチェックして、本人確認、離席チェックなどを行います。

第 6 条　動作確認サイトにおける検定試験受験方法の確認手順

1. 動作確認を行う為のアンケートを配信いたします。URL からオンライン試験システムにアクセスいただき、受験番号、パスワードを入力して下さい。
   動作確認は当日使用のパソコン、同じネットワーク環境で行って下さい。
   曜日によりネットワーク環境が異なる場合がございますので、試験実施曜日での動作確認をお勧めいたします。
2. オンライン試験システムで Web カメラに受験者の顔が正面から映るかを確認し写真撮影後アップロードして下さい。
3. 受験上の注意を聞き、アンケートをスタートします。
4. 回答する、問いを飛ばして進む、戻って訂正する等を行って回答方法を確認して下さい。

第 7 条　オンライン試験を受験する際の注意事項

1. 受験日は 30 分以上前に試験システムを作動させて、インターネット並びにカメラの接続確認をして下さい。
2. 試験中、Web カメラで受験生の動静が判断できるように適切な照明の下で受験して下さい。窓に向けてパソコンやカメラを設置する場合、画像が光って受験者が見えない場合がありますので、厚手のカーテンを引くようにして下さい。

3. 受験中に他の人が映り込まないように、また、他人の話し声が届かないように間隔を取っていただきますようお願いいたします。受験者が他人と会話していると判断された場合や、他人が近くにいた場合は不合格となります。
4. 受験会場におけるプライバシー等の注意
   受験に際して Web カメラで受験者を撮影して、試験システムサーバーに画像が送信されて保存されますので、差し支えの有るものは映らない場所に移動して下さいますようお願い致します。本学会はカメラ映像を、本人確認、試験中の不正行為防止以外に利用することは一切ありません。

第 8 条　オンライン・ライブ検定試験を受験する際の禁止事項

1. 試験中の受験生の動作を 10 秒程度の間隔で試験システムサーバーに送信して保存します。
   試験中の不正行為を行ったことが判明した場合、或いは、不正と疑わしい行為が判明した場合は不合格となります。
2. Web カメラが動作していない場合は不合格とします。
3. 以下の行為があった場合は不正行為が行われたとみなし不合格とします。原則として、行為、行動の基準は公開会場の試験開催の場合と同様とします。

【不正と見なされる行為の一覧】

1. 受験登録者以外の者が受験した場合
2. 試験中、受験者が入れ替わった場合
3. Web カメラを使用していない場合
4. Web カメラの映像がシステムへ正しく送信されていない場合
5. 試験中の受験者の確認ができない場合
   ※机上に伏すなどして顔が見えず、本人の確認ができない場合や、窓からの光で逆光になり本人確認ができ難い場合
6. 試験中に席を離れた場合（トイレで離席する場合も含む）
7. 試験中にヘッドフォン、イヤホンを使用した場合
8. 試験中に他人と会話していると判断された場合（受験者が話していない場合も含む）
9. 試験中に受験者本人以外が映り込んだ場合、試験中に無言であっても、他の人が受験者に近寄った場合
10. 試験中に携帯電話（スマートフォン）で他人と連絡を取った場合
    ※ただし、試験中のトラブルにより事務局へ連絡をする場合を除く
11. 試験中に携帯電話（スマートフォン）のカメラ機能で画面撮影を行った場合

12. 試験中にコーヒー・お茶・水などを含め、飲食をした場合
13. 試験中に喫煙をした場合
14. 試験中に問題の複製などを行った場合
15. その他、不正行為が疑われる行為を行った場合

第 9 条　免責事項等

1. 本人の確認不足や怠慢により、受験時間になっても適正に受験システムが動作できない場合は不合格となります。動作確認時にご不明な点を解決するようにお願いいたします。
2. 本学会は、本人の通信設備、パソコンの事情等による通信障害や、本人の責により、受験に不具合が生じた場合の責任は負いかねますので、必ず動作確認を綿密に行って下さい。
3. 試験は時間割通りに実施いたします。通信機器等によるトラブルで試験開始に間に合わない場合、試験が中断した場合の試験時間の延長は一切ございません。
4. オンライン試験システムの著作権は一般財団法人 全日本情報学習振興協会にあります。システムの複製などを行うことを禁止します。